



2019年11月1(金)・2(土)・3(日)

# 開港5都市景観まちづくり会議

## 2019横浜大会 ～見つけよう、広げよう！開港都市の可能性～

「開港5都市景観まちづくり会議」は、安政5(1858)年に開港港に指定された神戸・長崎・函館・新潟・横浜の5都市の市民が、相互に交流を深め、課題を協議し、開港5都市のまちづくりの推進に資することを目的に、年に1度開催する会議です。25回目の節目となる今大会は、開港160周年を迎えた横浜で開催します。これまでの成果を振り返りながら、「開港5都市」としての新しい魅力づくりの可能性を探ります。

1日目(11/1)

2日目(11/2)

3日目(11/3)

### ■全体会議Ⅰ

参加費：無料

会場：横浜開港記念会館講堂

テーマ：開港5都市の活動系譜と今後の景観まちづくりの可能性

- ◎トークセッション
- ◎各都市活動振り返り

■ウェルカムパーティー

一般参加可  
当日会場受付

### ■分科会

参加費：3,000円

会場：市内各所

- ◎景観・まちづくり事例の視察
- ◎意見交換・ワークショップ等

■行政会議

■オプションツアー

■Future Generation会議

一般参加可  
事前申込制  
(抽選)

### ■代表者会議

■全体会議Ⅱ

- ◎大会成果報告・大会宣言
- ◎次都市への引継ぎ式

## ■一般参加者を募集します！

以下のプログラムについて、会議の構成団体に加えて、横浜市民のみなさまの一般参加を募集します。

●全体会議Ⅰ：当日会場受付（直接会場にお越しください）

●分科会：事前申込制（抽選）

募集期間：令和元(2019)年9月2日(月)から同年9月17日(火)まで【必着】

◆申込方法：①または②のいずれかの方法でお申し込みください。

①電子申請 下記ページ内の申請フォームかQRコードから申し込みください。

<https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/form.do?id=1566284913801>

②ファックス 別添申込書に記入の上、FAXにて申し込みください。FAX番号：045-664-4539

◆参加者の決定：10月10日(木)までに①の方はeメール（tb-toshidesign@city.yokohama.jpから受信できるように設定してください）、②の方はFAXにて、抽選結果を返信・返送予定。



## ■プログラム紹介

### 【全体会議Ⅰ シンポジウム

日時：11月1日（金）14：00～17：00

参加費：無料 当日会場受付（13：30受付開始）  
（直接会場にお越しください）

会場：横浜開港記念会館講堂

（住所：横浜市中区本町1丁目6番地）

テーマ：開港5都市の活動系譜と今後の景観まちづくりの可能性

モデレーター：国吉直行（横浜国立大学客員教授）ほか

登壇者：5都市景観まちづくり団体代表者ほか

5都市の代表者とともに25年間の景観まちづくりの成果を振り返ります。また、これからの景観まちづくりの中で、横浜の個性でもある「開港都市」という価値をどのように活かせるのか、トークセッションや会場からの意見を聞きながら、探ります。

### 【分科会

日時：11月2日（土）9：00～16：30

参加費：3,000円（昼食付き・未就学児で昼食を不要とする場合は無料）

#### 1 洋館だけじゃない、山手の魅力を発信します！ ～開港期の明治を味わう～

明治～昭和期の日本在住の外国人人名録「ディレクトリ」とそれに関連する歴史資料を、山手町の地番ごとにまとめた「ブラフアーカイブス」を軸に、道と地形～営み～緑から山手地区の景観や魅力を発信する手法を考えます。昼食は元町の名店のパンを洋館で楽しみます。

集合：JR石川町駅南口（元町口）改札前

#### 2 海から見た横浜 ～クルーズが港の景観を変える？ ウォーターフロントの景観を考える～

開港160周年を迎えた横浜は、「象の鼻パーク」「ハンマーヘッドクレーン」などの歴史遺構を保存・活用すると共に、新たな客船ターミナルがつくられるなど著しく変化しています。現在の横浜港の姿を海から見ながら、開港の歴史を生かした景観づくりについて考えます。新たにオープンする商業施設で昼食を楽しみます。

集合：象の鼻テラス前（象の鼻パーク内）

#### 4 開港を支えた横浜郊外の活かし方を考える ～食と農、そして旧養蚕古民家～

開港以降、生糸・シルクの輸出で栄えた横浜は横浜郊外の養蚕業や「絹の道」に支えられていました。さらに食を支えた横浜の郊外部。農家の圃場訪問や昼食を通じて横浜の「地産地消」を体感します。また、養蚕に所縁のある古民家を通じて、観光の側面から都市郊外部の活用を考えます。

集合：JR関内駅南口 横浜市庁舎前広場

30名程度ずつ5つの分科会に分かれ、それぞれのテーマに沿って市内各所を視察し、ワークショップ等を通じて話し合います。



昼食も分科会ごとに選んだ場所やお店で交流しながら楽しみます！

#### 3 地域に開かれたコミュニティ拠点の創り方 ～今蘇る横浜商人の心意気～

三渓園で有名な原三溪など開港期の横浜商人は高い公共心を持ち、自邸の庭を一般市民に開放していました。かつて彼らが暮らした住宅地で運営される、公共空間を内包したユニークな集合住宅やコミュニティスペースを紹介し、開かれたコミュニティの在り方や課題等について考えます。

集合：JR根岸駅改札前

#### 5 「知る」ことで景観（まち）を どんどん好きになる！ ～まちを自分ごとにするガイドツアー～

景観は街の財産ですが、その価値は気づきにくいものです。一般市民が「そこにある景観」の価値や美しさに気づき、景観に親しみと誇りを感じながら暮らしていくにはどうすればいいのか。横浜開港地の代表的エリアである日本大通りを軸に「市民がガイドを行う」という体験から考えます。開港5都市の景観を自分の手で作る「ボックスタウン」の制作体験もあります！

集合：Kosha33（神奈川県住宅供給公社）

主催：開港5都市景観まちづくり会議横浜大会実行委員会

事務局：mass×mass関内フューチャーセンター内「横浜の文化を愛する会」事務局

共催：横浜市役所都市整備局

お問合せ先：横浜市役所都市整備局都市デザイン室（横浜市中区港町1-1 TEL：045-671-2023）

# ■開港5都市景観まちづくり会議 分科会参加申込書（FAX用）

申込先FAX番号：045-664-4539

お名前・フリガナ	
性別	男性 ・ 女性 ・ 無回答
FAX番号	( )
携帯電話番号 11月2日当日に連絡のつく 番号をお願いします。	( )
ご年齢	10歳代・20～30歳代・40～50歳代・60～70歳代 80代以上 ※中学生以下は要保護者同伴
横浜市に	在住・在勤・在学・その他 ( )
同伴の方がいる場合、 その氏名と年代	氏名： 年代： 歳代 ※中学生以下は要保護者同伴
参加希望分科会番号 (①～⑤の中から参加をご希望する分科会の番号をご記入ください)	第一希望： 第二希望：

○ 注意事項

- ・分科会ごとに集合場所が異なります。チラシをご確認ください。
- ・分科会2では船にのる予定ですが、天候や波の影響で当日の予定が変更になる可能性があります。船酔いする方はあらかじめ酔い止めをご用意ください。
- ・分科会3と4ではバスで移動します。乗り物に酔いやすい方はあらかじめ酔い止めをご用意ください。
- ・気温が変化する時期のため、帽子、上着など暑さ・寒さを調節できる服装をお願いします。
- ・まちあるきは、階段・坂がある場合もあります。歩き慣れた靴でご参加ください。